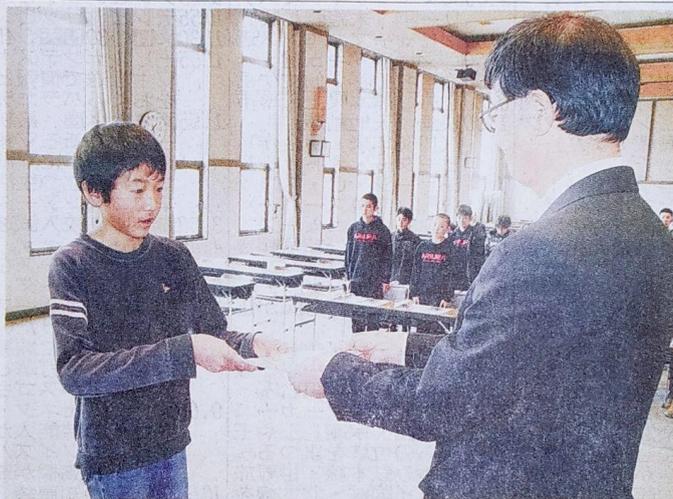


中学での活動に決意

大館市スポ少合同修了式 6年生19人に証書授与

大館市スポーツ少年団(庄司弘本部長)の本年度合同修了式が先月28日、同市中央公民館で行われた。4団体の6年生19人が修了証書を受け取



り、中学校での活動に向けて「決意を新たにしました。」

修了証書を受け取る畠山さん(市中央公民館)

式典には団員や本部役員、保護者ら52人が出席。修了者代表で上川治スポ少の畠山権衣さんが登壇し、修了証書を受け取った。

修了者代表あいさつでは、有浦HYB男子ミニバスの越前屋龍馬さんが「目標にしていた全国大会で1位になることができた。その中で優勝の感動と仲間の大切さを学ぶことができた」と語った。庄司本部長は「スポ少でのいろいろな活動を中学校でも生き生きと発揮してほしい。これからもスポーツに親しみ、健康で知的な毎日を送ることを願う」と期待を込めた。

への「活動賞」も授与。本年度は17人が奨励賞を受賞し、代表で城南ランナーズの松村和賀子さんが受け取った。

式後は市出身で関東学院大学経済学部の教授を務める青柳健隆さんが、「放課後を『ザインしよう』と題して講話。中学校部活動の地域展開について、大人と子どもが共にアイデアを出し合う重要性を伝えた。団員ら出席者全員に著書もプレゼントした。

2026年3月5日
北鹿新聞掲載記事

訂正

記事文内に越前谷様コメントとして全国大会で1位とありますが、訂正します。
全県大会で1位となり、全国大会出場となりました。
全国大会での健闘を祈ります。